

心記想伝



「心」

先日の「ドリーマー中村葬祭館 春の感謝祭」においては、コロナ感染症予防の観点から完全予約制という形を取らせていただきましたが、多数の皆様にご来館をいただき心より感謝を申し上げます。

墓じまいのご相談・樹木葬のお問合せ・今の葬儀のカタチの特徴・お葬儀に準備しておかねばならぬこと・お葬儀後の手続き内容・生前整理と遺品整理・会員制度と葬儀保険の組合せ（有効手段）等、ご相談やお問合せ内容は過去に開催した内見会（感謝祭）よりも多岐にわたり、コロナ禍をきっかけに「大切な将来のための終活」について、それぞれの皆様の考え方であり備えの仕方にも変化の兆しを感じる所がありました。

私達が改めてこれだけは変えずに継続せねばならないと思ったことは、お客様一人一人への「安心のサポート体制」です。一生の中で何度も経験することのないご身内の葬儀、その大切な「ひと・とき」に弊社にお声をかけてくださる皆様には、少なからず「頼りにしている」「任せたい」「助けてほしい」といったお気持ちがあり、その期待を裏切ることなく、プロとして後悔のないお葬儀を創造し提供する責務の重要さを再認識させられました。

先日、あるメディアで「鮭の遡上と生涯」を見る機会がありました。川で産卵し孵化した稚魚はやがて海へと出ていき数年後には成魚となり、激流に押し戻されても生まれた場所（川）に遡上していき、メス鮭は時間をかけて自力で産卵場所を作り、オス鮭は自身の子孫を残すために戦い、十分に栄養を蓄えた体は

エネルギーを使い果たして痩せ細り、それぞれの責務を全うし生涯を終えるという内容でした。鮭は川を上り始めた段階から一切エサを食べなくなるため、海で蓄えたエネルギーのみを頼りに泳ぎ続けます。その結果として産卵場所まで到着した時点で体はボロボロですが、まだ子孫を残す責務が残っておりその体にムチを打って最後の力を振り絞り産卵するため、その直後に死に至ります。（メスだけでなく放精するオスも同様です。）そして驚くのは鮭の死にも大きな意義があるということです。その意義とは川の上流にはそもそも生態系が少ないため、鮭の子供のエサであるプランクトンも少なく栄養不足で死んでしまう、それを回避するため鮭は自分を犠牲にして死骸をプランクトンに食べさせその数を増やし、結果的に子供のエサを作り出しているという説です。これはもともとの鮭の本能である、人と鮭を比較されても・・・そんなお話もあるかもしれませんが、私達がこの先も変わらずに胸に留めておきたいことは、周りの人への思いやりであり気遣いではないでしょうか。

自分さえよければという考えではなく、より有意義な人生を営むために小さなことにも感謝をする、有難うの感謝の念を述べる、将来の見通しをたてる（結果的に終活を行っている方も居られます）、そんな日々の行いであり心掛が家族孝行となり、より「人間らしい営み」に繋がってくるものと思います。日本の英語学者でもあり名誉教授の方が、学生の皆さんにこのような質問をしていたそうです。「ゾウから鼻を取ったらゾウでなくなる。キリンから首を取ったらキリンでなくなる。では、人間から何を取ったら人間でなくなるのか」皆さんは何とお答えになりますでしょうか・・・？ 答えのひとつに「心」があると云われております。心は諸刃の剣でもあり、自然界と同じで放っておくと雑草が生え、その雑草を抜き取り自己を磨くことが大切であると云われております。私達のかかわら版のタイトルでもある「心記想伝」の最初の一字にもある「心」を慮り、この先にも想いを伝えられる人生の節目のサポートをさせていただきたいと考えております。



家族葬も承っております ～少人数でのお葬儀～



家族・親族の家族葬は、故人と最後のお別れをゆっくり行いたいという多くの方のニーズにお応えした葬儀の形式です。ドリーマーでは少人数のお葬儀もしっかりとお手伝いさせていただきますので、お気軽にご相談ください。



ドリーマー会員がおすすめです

ドリーマー互助会(メリットのイメージ)

掛け金を前払いすること、会員特典のダブル効果で将来ご利用いただく時のお支払いがとても楽々です。

ドリーマー会員になると...
この部分が
お得です!



お得で、もしもの時に
安心なシステムです

積み立ての途中でも使えます。契約者以外のご家族の方でも使うことができるので安心です。コース内容など、お気軽にご相談ください。



- 法事法要も承ります
- 一、会館法要なら手間いらず
 - 二、必要品は全て対応します
 - 三、ご高齢の方にも安心して館内で移動もスムーズです
 - 四、大きな駐車場を完備
- 返礼品・お供え・お料理など
ご自宅のお掃除・後片付けが不要
各種回忌法要が行えます

ちょっとだけ勉強のコーナー

ほとんどで「葬儀・告別式」と同時進行で行われる事が多いですが、本来の意味合いは異なります。一般的な仏式の葬儀の流れを例にすると、導師の読経等焼香までの儀式が葬儀で、親族や一般会葬者の焼香や棺の中への献花等が告別式です。葬儀とは宗教的な意味合いが強く、亡くなられた方をあちら側の世界（宗教により異なります）へ送り出すための儀式に対し、告別式は社会的な別れの儀式（別れを惜しむ参列者のための儀式という意味合いが強い）とされていますが、導師の読経中に焼香をする事が多くなり葬儀と告別式が混同されがちですが明確な意味合いの違いがあります。



関係者に訃報をお伝えする方法

- 以下のQRコードを読み取ってください。
- 訃報をお伝えするためのWEBページが表示されます。
- メール、SMS、LINE、Facebookでお知らせしたい方々に

訃報紙のQRコードを読み取り、関係者に情報を送ることにより、電話連絡をして日程などを伝える労力を軽減でき同じやりとりがなくなります。

情報をいただいた関係者の方は供花・供物・弔電なども、簡単にオンラインで注文する事ができるので、スムーズに物事が進行します。

遠方の方や、今の状況下で参列できない関係者のご香典も電子決済でき書留を送る手間も省けます。



心記想伝

ドリーマー中村葬祭館 お葬儀かわら版

2023.3月
第118号

〒七七八七-0009
四万十市佐岡四四六番地
☎0880-3515055